

コンビ ベビーカー auto N first オンライン取扱説明書

品質保証書付

ご使用前に必ずこのオンライン取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。

※本説明書はEN基準に適合した内容の説明書です。



製品のイラストはイメージです。
タイプにより仕様が異なる可能性があります。
製品の仕様は、改善などのため、予告なしに変更することがあります。

もくじ

はじめに

ご使用前に	1
安全にご使用いただくために	2
各部のなまえ	6

ベビーカーの使いかた

ベビーカーの開きかた	7
対面・背面の使いかた	8
シートを切り替えるとき	8
ストッパーの使いかた	9
フロントガードの使いかた	9
幌の使いかた	10
幌のサイズを変える	10
幌の高さを変える	10
シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた ..	11
シートベルトの締めかた、はずしかた	11
シートベルトの調節のしかた	12
リクライニングの使いかた	13
背もたれの倒しかた	13
折りたたみかた	14
持ち運びかた	15
部品の取り付けかた	16
インナーシートの取り付けかた	16
肩ベルトカバー・股ベルトカバーの取り付けかた	16
着脱シートのはずしかた	17
ヘッドサポートの使いかた	19
頭部用エッグショックパッドの取り付けかた	19

お手入れ方法

縫製製品の洗濯について	20
車体の清掃について	21
注油について	21
保管のしかた	21

その他

点検とアフターサービスについて	22
ベビーカーの『標準使用期間』について	22
廃棄方法について	22

ご使用の前に

- この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- 望ましい連続使用時間：2時間以内（ただし、生後7ヵ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内）
- 使用できるお子さまの月齢：生後1ヵ月[※]以上48ヵ月ころまで（お子さまの体重の目安22kg以下）
※生後1ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ胎週数37週以上を満たし、1ヵ月経過したお子さまを示します。

開封されましたら各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。



シートと車輪は取りはずされた状態で梱包されています。

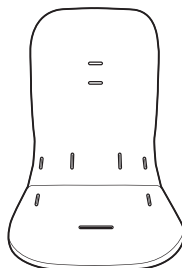
ベビーカー 本体



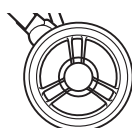
ヘッドサポート



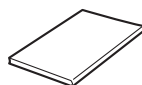
頭部用
エッグショックパッド
（ヘッドサポートに内蔵）



インナーシート



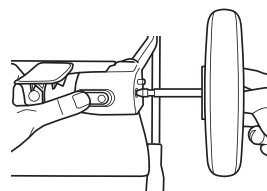
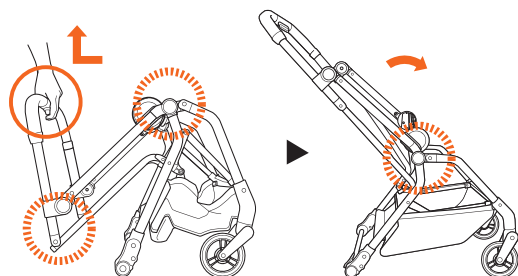
車輪（2個）



クイックスタートガイド

組み立てかた

- ①ハンドルを後方に持ち上げ、ベビーカーを開く。ハンドルを上下に振り、ベビーカーが完全に開き、ロックがかかっていることを確認する。
- ②後輪をベビーカー本体に差し込み、車輪を引っ張り取れないかを確認する。

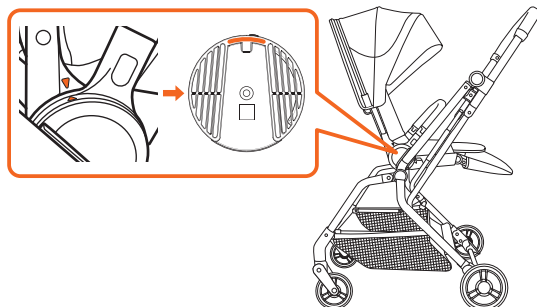


⚠ 注意

車軸に異物が入ると後輪が正しく取り付けられない可能性があります。

- ③シートとフレームの三角形のマークを合わせた状態でカチッと音がするまで差し込む。
- ④コネクタの上の白いマークが完全に覆われていることを確認する。

※対面・背面どちらも同じ方法でシートを本体に取り付けることができます。




インナーシート、ヘッドサポート、肩ベルトカバー、股ベルトカバーの取り付けかたは各部の取り付けかたをご確認ください。

安全にご使用いただくために

表示	表示の内容
⚠️ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠️ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性がります。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠️	警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。
✖️	禁止行為であることを告げるものです。
ワンポイント 	補足説明

⚠️ 警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

●破損や異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して当社コンシューマーブラザにご相談ください。

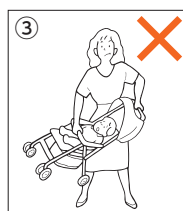
お子さまが落ちるおそれがあります。

- 必ずシートベルトを締め、正しく着用してください。肩・腰バックルを股バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。(①)
- お子さまは月齢が高くなるにつれ、周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトをはずすおそれがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。
- お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。(②)



お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。(③)
- 正しく操作を行い、ロックが確実にかかっていること(ベビーカーが完全に開いた状態であるか)を確認してから使用してください。
- ベビーカーの開閉時やシート切り替え時に、ベビーカーの着脱シートやシートベルト、ブランケット、おもちゃなどをベビーカー本体にはさみ込まないよう十分注意してください。ロックがかからず折りたたまれたりするおそれがあります。
- この製品は座面を持ち上げることができますが、お子さまが乗った状態では座面を持ち上げないでください。ベビーカーが不安定になり、転倒するおそれがあります。





取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

- カゴ以外のところに荷物をのせたり、ハンドルに荷物をつるさないでください。ベビーカーが不安定になり転倒してお子さまが落下するおそれがあります。また、ハンドルに寄りかかったり、ハンドルを無理に押し下げるなど、過度の荷重はかけないでください。破損・故障の原因となります。(④)
- 排水溝のふた(グレーチング)や踏切、路面の溝など、溝がある路面を通るときは、溝に車輪をとられたりはさまったりするおそれがあります。十分注意して進んでください。(⑤)
- 車輪が溝にはさまったときは、はさまった方のフレーム(パイプ)とハンドルを持って、車輪を引き上げてください。その際、お子さまや荷物が乗っている状態では、ベビーカー全体を持ち上げないでください。(⑥)
- ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外のところに乗せないでください。(⑦)
- 無理な段差乗り越えは、前輪に衝撃が加わり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。また、破損・故障の原因となります。縁石などの段差を乗り越える場合は、わずかな段差でも速度を落とし、後脚ステーに足をかけてハンドルを手前に引き、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。(⑧)
- お子さまを乗せ降ろしする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。また、ハンドルに寄りかかったり、ハンドルを無理に押し下げるなど、過度の荷重はかけないでください。破損・故障の原因となります。
- ホームと電車との段差やすき間に車輪がはさまったり、引っかかったりしてベビーカーが転倒するおそれがあります。電車から降りる際は、使用者が先に降りると電車とホームのすき間を確認しやすくなります。十分注意して乗降してください。
- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。
- 坂道ではシート切り替え操作を行わないでください。思わぬ方向に動き出すおそれがあります。



ベビーカーが動き出したり、転倒するおそれがあります。

- 停止中は必ずストッパーをかけてください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。(⑨)
- お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。(⑩)
- ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。(⑪)
- この製品はランニングやスケートに適していません。
- この製品は座面を持ち上げることができますが、お子さまが乗った状態では座面を持ち上げないでください。ベビーカーが不安定になり、転倒するおそれがあります。





取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが指や手をはさんだり、ケガをするおそれがあります。

- お子さま自身での乗り降りは、転倒や指はさみなどの危険がありますのでおやめください。(12)
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時、幌の開閉など、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- 部品、同梱品、オプションは純正品のみを使用し、当社指定の製品または部品以外は使用しないでください。非純正部品の取り付けによりベビーカーのバランスが崩れて転倒するなど、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足などをはさむおそれがあります。
- 小さな部品は窒息の危険があるため、必ずお子さまの手の届かない場所に保管してください。
- 窒息の危険を防ぐため、ビニール袋はすぐにお捨てください。
- ベビーカーを火気、高温、プール、または電源の近くに置かないでください。
- 車体から取りはずした座席は、座席単体でお子さまのいすやキャリーとして使用しないでください。



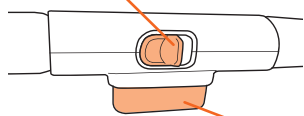


取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。走るとキャストの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけでなく使用者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いとき、雷のときは使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- ベビーカーを保管するときは横向きにせず、上に荷物などを重ねないでください。また、ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用前に、締結部品などにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマーブラザにご相談ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間の使用禁止
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- 鉄道やバスの中での使用について
本製品は、鉄道やバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を鉄道やバスの中で使用するときは、カーブやブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、お子さまに肩と腰のシートベルトを装着の上、十分注意してご使用ください。また、事前に各鉄道、バス事業者が示すベビーカー利用の可否、方法をご確認ください。ご利用条件を満たさないときは、ご使用になれません。なお、ご利用条件を満たす場合でも、鉄道やバスの中でベビーカーを使用した際の安全を保証するものではありません。
- お子さまの足が車輪や地面につく場合は使用しないでください。足をケガするおそれがあります。
- 坂道の走行では、不安定なため転倒するおそれがあります。速度を落とし、十分注意して走行してください。
- フロントガードを引っぱって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- 背もたれを1番倒した状態でお子さまが窮屈な場合は、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この方法は首がすわってからのお子さまに限ります。
- お座りができないお子さまの場合は、背もたれを倒した状態でご使用ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。
- カゴには鋭利なものや大きすぎるものを入れないでください。カゴが損傷するおそれがあります。
- 低月齢のお子さまが使用する場合はリクライニングを最も倒した状態でご使用ください。また必ずベルトを付けた状態でご使用ください。
- カゴに耐荷重以上の荷物はのせないでください。破損の原因になります。
- 定期的に車体の清掃・点検をしてください。使用時に異常を感じた時や、日常点検で異常を発見した際はすぐ使用を中止してください。

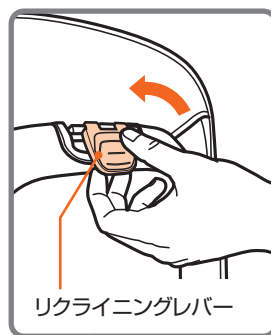
各部のなまえ

手元ロックスライダー



折りたたみレバー

ハンドルグリップ



リクライニングレバー



ヘッドサポート



頭部用

エッグショックパッド

フロントガード

股バックル・
股ベルトカバー

インナーシート

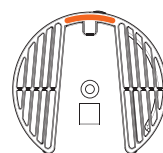
フットレスト

フットレストボタン

幌ファスナー

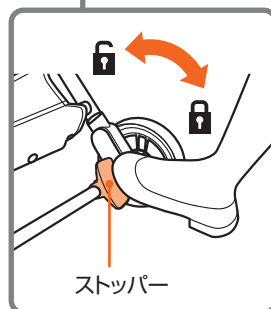
シートベルト(肩ベルト)・
肩ベルトカバー

スライドレール



コネクタ

カゴ
耐荷重5kg



ストッパー

はじめに

ベビーカーの開きかた

●この製品は、対面・背面どちらでも開くことができます。

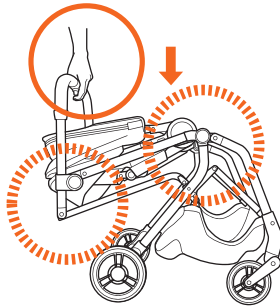
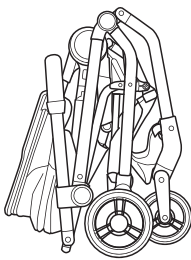
⚠ 警告

- ベビーカーを開くときには、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時、幌の開閉など、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。

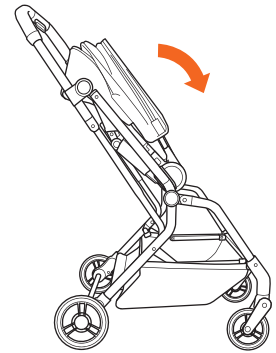
⚠ 注意

お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ① ハンドルを後方に持ち上げ、「カチッ」と音がするまで、ベビーカーを開く。ハンドルを上下に振り、ベビーカーが完全に開き、ロックがかかっていることを確認する。
- ② シートを矢印の方向に倒し、フットレストはボタンを両手で押しながらお好みの高さに調整する。



①



②

ワンポイント



車輪を地面につけた状態からハンドルを持ち上げてください。

対面・背面の使いかた

●この製品は、座席の向きを変えて、対面・背面の切り替えを行うことができます。

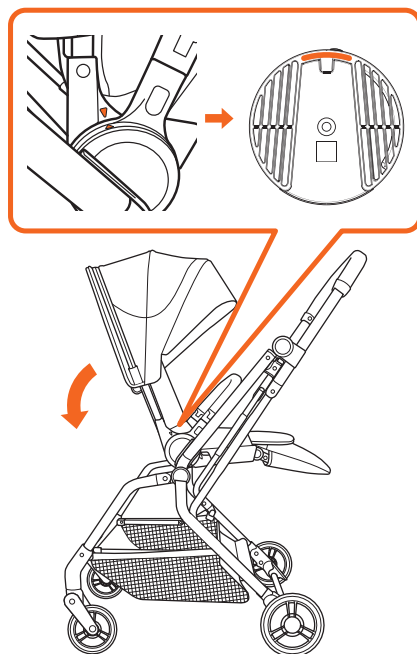
⚠ 警告

- お子さまを乗せたまま座席の着脱をしないでください。お子さまが落ちるおそれがあります。
- 座席を車体に取り付ける前に、車体と座席それぞれの取り付け部分に、破損や異物の混入、肩ベルトのはさみ込みなどがないことを確認してください。座席がはずれ使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。
- 座席の取り付けは左右ともに確実に取り付けてください。取り付け後は車体と座席が確実に取り付けられたか、座面を持ち上げるなどして確認してください。
- 車体から取りはずした座席は、座席単体でお子さまのいすやキャリーとして使用しないでください。破損や、お子さまが思わぬケガをするおそれがあります。

シートを切り替えるとき

●対面・背面どちらも同じ方法で切り替えることができます。

- ①シートとフレームの三角形のマークを合わせる。
- ②シートを上を持ち上げ取りはずす。
- ③シートの向きを変え、三角形のマークをあわせた状態でカチッと音がするまで差し込む。
- ④コネクタの上の白いマークが完全に覆われていることを確認する。
- ⑤背面を後ろに倒し、車体と座面が確実に取り付けられていることを確認する。



ストッパーの使いかた

- ベビーカーを停止させているときには、必ず押す人側のストッパーのロックをかけてください。

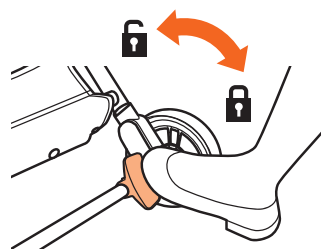
⚠ 警告

- 停止中は必ずストッパーをかけてください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーをかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

⚠ 注意

- 空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ずストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。

- ①前方に足で踏みロックを解除する。
ロックする場合は後方にストッパーを戻す。
- ②ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかり、車輪が動かないことを確認する。



フロントガードの使いかた

⚠ 警告

- フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときには必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ベビーカーを開いた状態でフロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちる可能性があります。
- お子さまを乗せた状態ではフロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれお子さまがケガをする可能性があります。

⚠ 注意

- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。

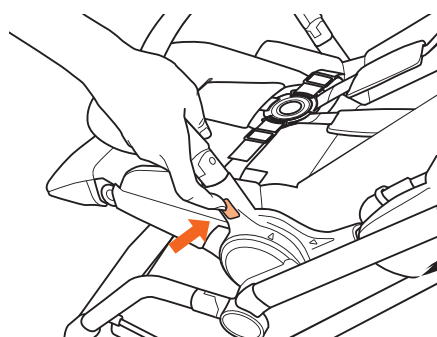
フロントガードをはずすとき

矢印のガードボタンを押しながら上に引き抜く。

ワンポイント



・フロントガードを開くとき、車体やお子さまに当たらないようにガードを下げながら開いてください。



フロントガードを取り付けるとき

- ① 差し込み穴にフロントガードを「カチッ」と音がするまで差し込む。
- ② フロントガードを引っばって、はずれないことを確認する。

幌の使いかた

⚠ 警告

幌を開閉するときは、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさむおそれがあります。

幌のサイズを変える

- ① 幌フレームを持ち、前方、または後方にまとめる。ファスナーを開けると幌を大きくすることができます。

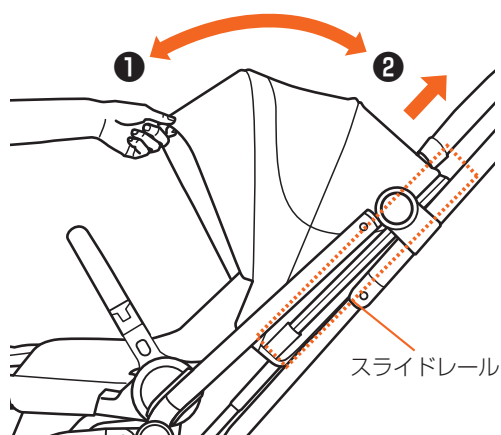
幌の高さを変える

- ② 幌を持ち、スライドレールにそって高さを上下に調整する。(2段階)

ワンポイント



幌の高さを変えるときは「カチッ」と音がするまで上げてください。



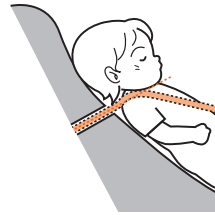
シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた

⚠ 警告

- 必ずシートベルトを締め、正しく着用してください。肩・腰バックルを股バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。シートベルトが長すぎるとお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒す場合、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。操作後は肩ベルトを適切な長さに調節してください。
- 肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

ベルトの位置について

インナーシートの使用有無に関わらず、肩ベルトの高さがお子さまの肩付近の位置になるように調節して使用してください。

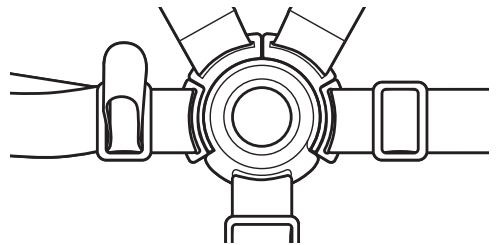
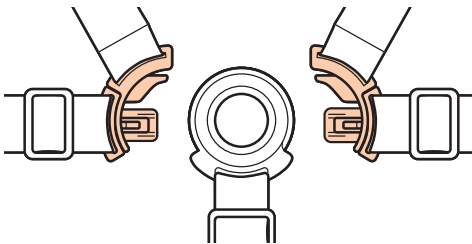


シートベルトの締めかた、はずしかた

締めかた

- ① お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。
- ③ 股バックルを引き出し、股バックルの左右に重ねた肩と腰バックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。

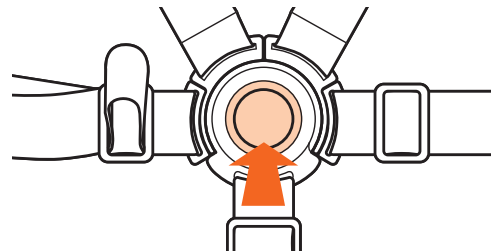
- ② 肩バックルを腰バックルに重ねる。



- ④ 肩ベルト、腰ベルトを引っばって、はずれないことを確認する。

はずしかた

バックルボタンを押す。



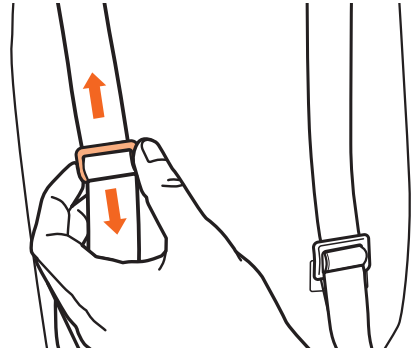
シートベルトの調節のしかた

⚠ 警告

肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。使用中に肩・腰ベルトが抜けて、お子さまが落ちるおそれがあります。取り付け後、肩・腰ベルトを強く引っ張り、それぞれのバックルから抜けにくいことを確認してください。

肩ベルトの高さを調節するとき

ラダーを上下に動かし、高さを調節する。



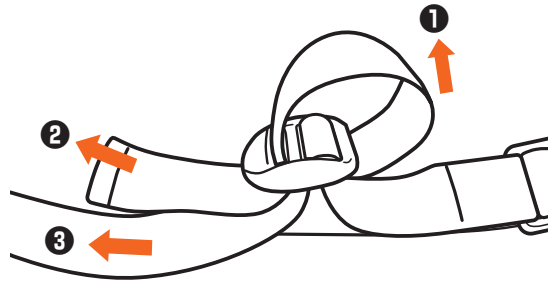
肩ベルトの長さを調節するとき

【締めるとき】

ベルトを①の方向に上げ、
②の方向へ引く。

【ゆるめるとき】

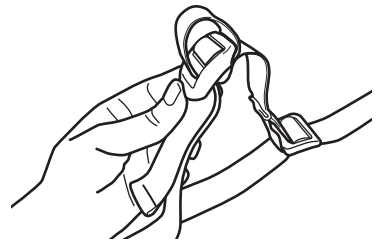
ベルトを①の方向に上げ、
③の方向へ引く。



ワンポイント

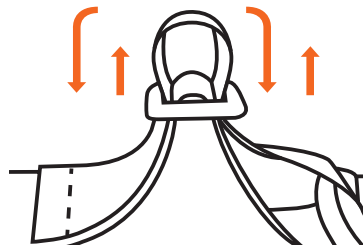


- ベルトの調節の目安がわからない。
→ お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのすき間が目安です。
- 肩ベルトカバーに肩ベルトラダーが覆われているときは、肩ベルトカバーをずらしてから調節してください。
- ラダーを図のように立ち上げるとベルトを引きやすくなります。



腰ベルト・股ベルトの長さを調節するとき

ラダーからベルトを引き出し裏側のベルトを引く。



リクライニングの使いかた

⚠ 警告

- リクライニング操作時は、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

⚠ 注意

- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。
- おすわりができないお子さまの場合は、最も倒した状態から中間位置まで起こした状態でご使用ください。
- 低月齢のお子さまが使用する場合はリクライニングを最も倒した状態でご使用ください。また必ずベルトを付けた状態でご使用ください。
- お子さまを乗せたままリクライニングを起こしすぎないようにしてください。お子さまが座席にはさまれるおそれがあります。

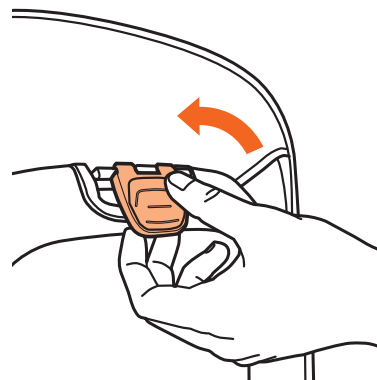
ワンポイント



- リクライニングの使いかたの目安
 - ・1ヵ月～首がすわるまで
→背もたれは最も倒した状態
 - ・首がすわってから、1人でおすわりができるまで
→背もたれは最も倒した状態から中間位置まで起こした状態
 - ・1人でおすわりができるようになったら
→背もたれは最も倒した状態から最も起こした状態

背もたれの倒しかた

片方の手でお子さまの身体を支え、他方の手でリクライニングレバーを図のようにつかみ上にあげ、シート角度を調節する。(3段階)



折りたたみかた

- この製品は、対面・背面どちらでも折りたたむことができます。
- 折りたたむときは、必ず幌を後方にたたんでまとめてください。
- 折りたたむときは、必ず幌の高さを一番低くしてください。

⚠ 警告

- ベビーカーを折りたたむときには、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ベビーカーを開閉するときには、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。また、操作する際、折りたたみ機構部分にはお手を触れないようにしてください。
- 丸枠の点線部分にお子さまの手や足をはさまないようにしてください。

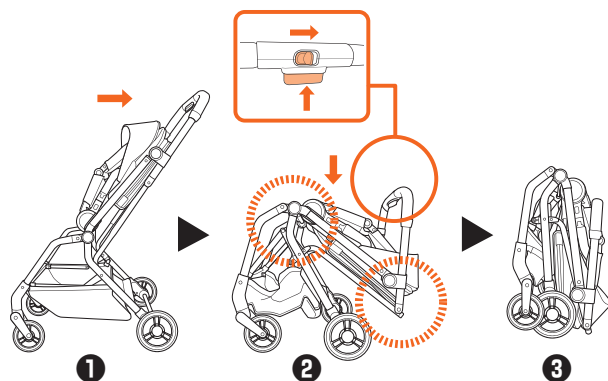
⚠ 注意

- 手元ロックスライダーをスライドさせずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。
- 何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じが合った場合には、1度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむときは、カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- 車のトランクなどに入れて外出する場合は、幌に負荷がかからないようにしてください。変形や破損の原因となります。

対面の状態から折りたたむとき

●折りたたむときはフットレストを図の位置にしてください。

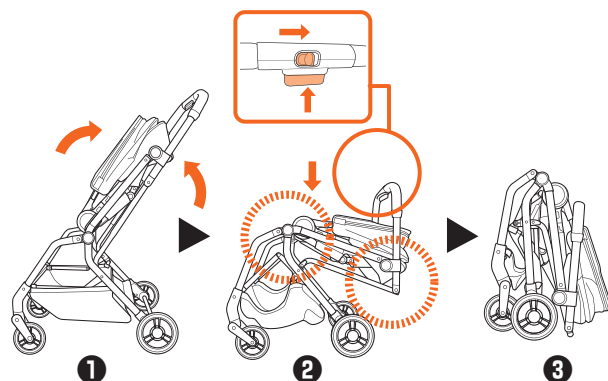
- ① 幌を折りたたみ、幌の高さをスライドさせて下げる。シートと座面をハンドルと平行になるように矢印方向にたたむ。
- ② 手元ロックスライダーを右にスライドさせ、折りたたみレバーを押し、手をはなす。
- ③ ベビーカーが自動的に折りたたまれる。



背面の状態から折りたたむとき

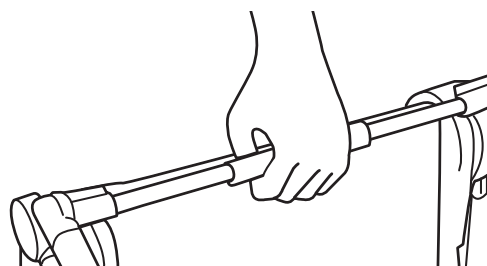
●折りたたむときはフットレストを図の位置にしてください。

- ① 幌を折りたたみ、幌の高さをスライドさせて下げる。シートと座面をハンドルと平行になるように矢印方向にたたむ。
- ② 手元ロックスライダーを右にスライドさせ、折りたたみレバーを押し、手をはなす。
- ③ ベビーカーが自動的に折りたたまれる。



持ち運びかた

図のようにグリップを握り、持ち運ぶ。



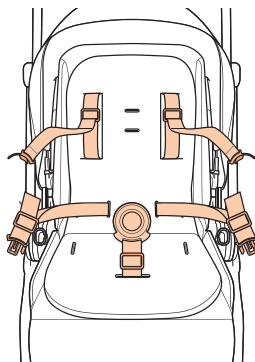
⚠ 注意

- 過度の力を加えないでください。故障や破損の原因となります。
- 本来の目的以外で使用しないでください。
- この部分以外を使って持ち運ばないでください。車体が開くおそれがあります。

部品の取り付けかた

インナーシートの取り付けかた

肩ベルト・腰ベルト・股ベルトをインナーシートの穴に通し取り付ける。

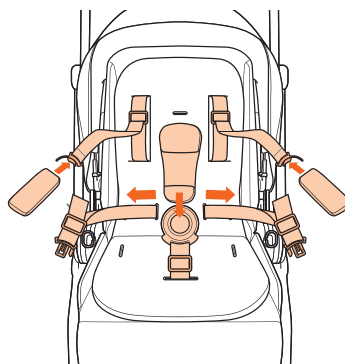


肩ベルトカバー・股ベルトカバーの取り付けかた

肩ベルトと股ベルトに通し取り付ける。

⚠ 注意

- 肩ベルトカバーと股ベルトカバーがずれ落ちて、紛失する可能性があります。
- 肩ベルトカバー内部のホックをつけてご使用ください。
- 股ベルトカバー内部のゴムベルトを股ベルトに通してご使用ください。



着脱シートのはずしかた

⚠ 警告

- 着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- やぶれやほつれの発生した着脱シートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、着脱シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- 着脱シートを取り付ける際に、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全の場合、ケガややぶれなどの原因となります。また、着脱シートのはさみ込みにより、開閉操作に動作不良を起こすおそれがあります。

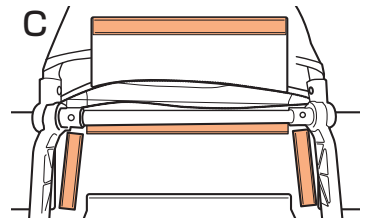
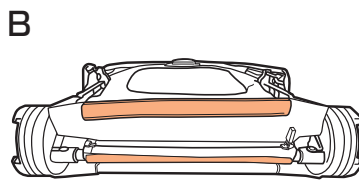
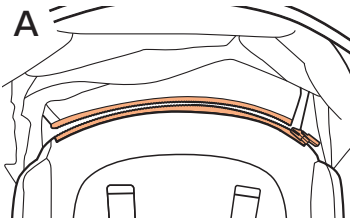
※着脱シートについて

お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、シートに面ファスナーが付着しないように気をつけてください。メッシュ生地に引っかけて傷つけるおそれがあります。

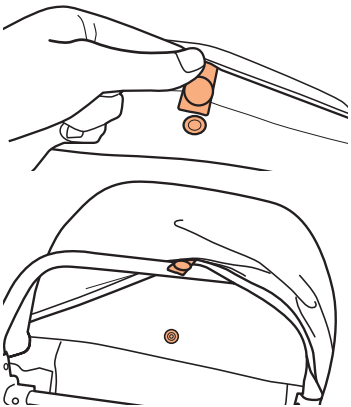
※面ファスナーについて

取りはずす際は、衣類などに付着しないように気をつけてください。付着した生地を傷つけるおそれがあります。

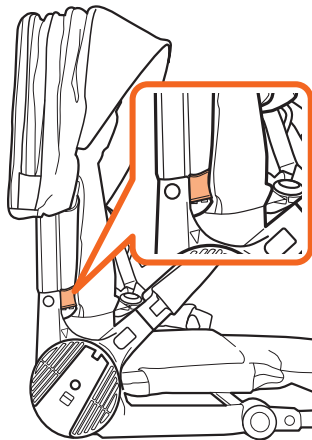
① 幌の高さを上げ、シート頭部にあるファスナー【A】と座面下の面ファスナー【B】【C】をはずす。



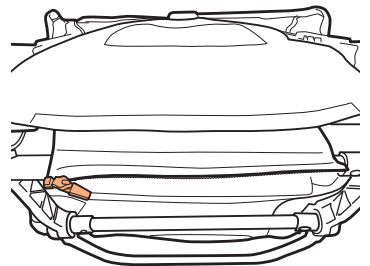
② シート足元の裏面にあるプラホックをはずし、シート先端をフレームから取りはずす。



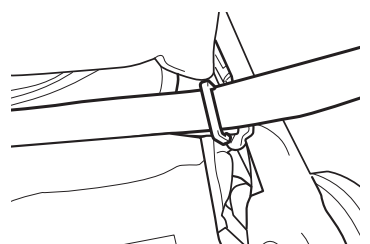
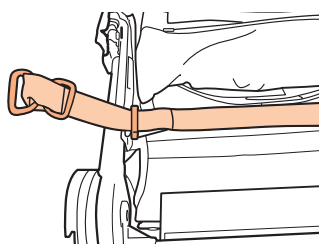
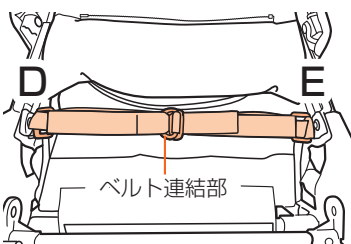
③ シートの側面にある面ファスナー（左右）をはずす。



④ 座面下のファスナーをはずす。

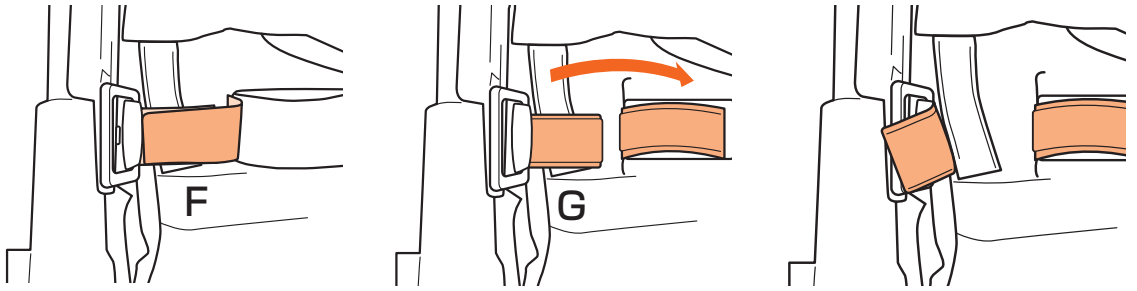


⑤ ベルト連結部をはずし、【D】・【E】より部品を斜めに傾けながらベルトを引き抜く。

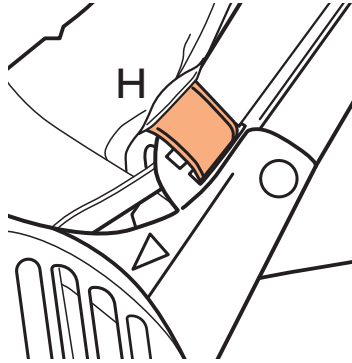


次ページに続く

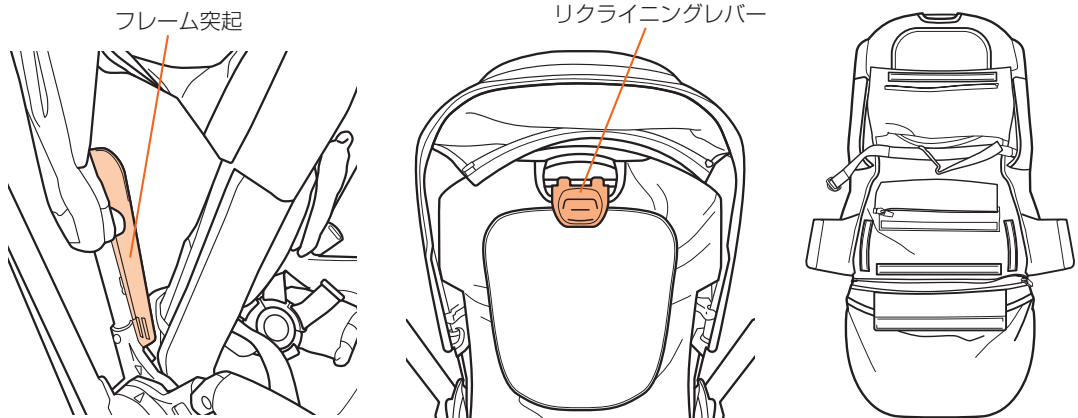
⑥ 左右の面ファスナー【F】をはずしその下の面ファスナー【G】を取りはずす。



⑦ 面ファスナー【G】をフレーム上段の穴【H】から引き抜く。



⑧ 着脱シートを左右のフレーム突起とリクライニングレバーから取りはずす。

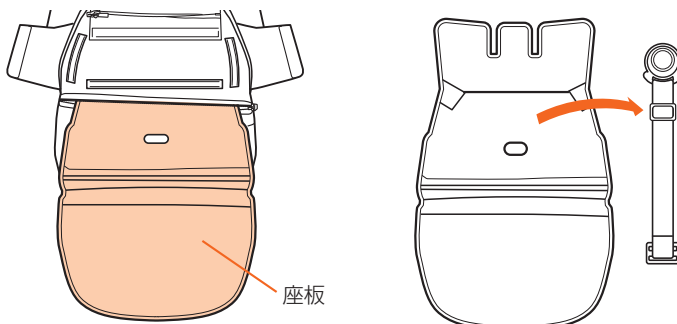


ワンポイント



着脱シートを洗濯する際は座板を取りはずしてください。

⑨ 着脱シートから座板を取りはずし、座板から股ベルトを取りはずす。



座板

ヘッドサポートの使いかた

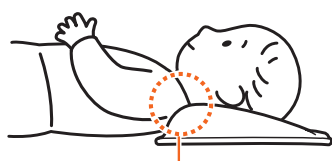
●ヘッドサポートは、お子さまの体格にあわせた取り付け位置でお使いください。

⚠ 注意

- 背もたれを起こした状態で使用する際、お子さまの頭がヘッドレストの位置にくる場合には、ヘッドサポートを使用しないでください。
- やぶれやほつれの発生したヘッドサポートはそのまま使用しないでください。中のクッション材をお子さまが飲み込んだり、ヘッドサポート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。

ヘッドサポートの取り付け位置の目安

ヘッドサポートは、お子さまの首のあたりにクッションの凸部がくるように取り付けてください。



首にくるように取り付け

ヘッドサポートの取り付け時期の目安

	1ヵ月	お座り (7ヵ月ごろ※)
ヘッドサポート	←→	
エッグショックパッド	←→ ヘッドサポートの中	

※ 月齢は目安です。お子さまの発育にあわせてご使用ください。

ヘッドサポートの取り付けかた

ヘッドサポートを着脱シートに取り付ける。

ヘッドサポートベルトを、ヘッドサポート通し穴に通し、ベルト先端の折り返し部を通し穴に引っかけて取り付ける。

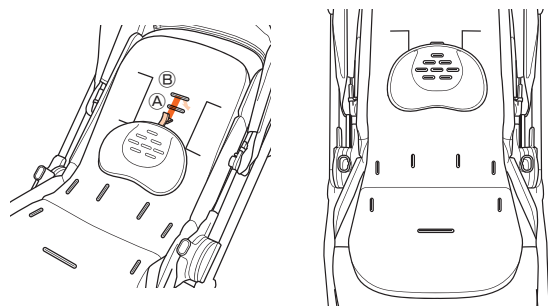
取り付け後、着脱シートにとまっているか、軽く引っばって確認する。

ヘッドサポート通し穴①②の目安について

①は1ヵ月～4ヵ月ごろまでの月齢のお子さま

②は4ヵ月～7ヵ月ごろまでの月齢のお子さまに使用してください。

※月齢は目安です。お子さまの発育にあわせてご使用ください。



ワンポイント



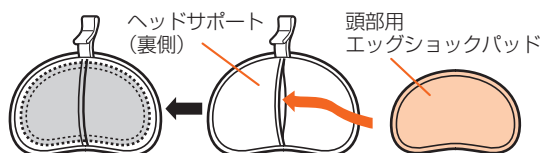
ベルト先端の折り返し部を、通し穴に奥まで差し込み、しっかり引っかけてください。

頭部用エッグショックパッドの取り付けかた

ヘッドサポートで使用するとき

- ヘッドサポートには、走行中のゆれからお子さまを守る“エッグショックパッド”を入れることができます。

ヘッドサポートの裏側から出し入れする。



縫製品の洗濯について

※幌のプラスチック部分などでケガをしないように注意してください。

※製品の特性上、若干色あせすることがあります。

※洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。

※保管状態により、カビが発生することがあります。こまめに洗濯をし、清潔に保つように心がけてください。

洗濯時は次のことを守ってください。

洗濯上の注意

	液温は40°Cを限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		アイロン仕上げ禁止
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ドライクリーニング禁止
	タンブル乾燥禁止		非常に弱い操作によるウェットクリーニングができる
	日陰のつり干しがよい		

● 着脱シートの洗濯

- 着脱シートの洗濯は、水、またはぬるま湯で手洗いしてください。
- 洗濯機は使用しないでください。
- きついまみ洗いはしないでください。
- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いや漂白剤も避けてください。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干してください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

● インナーシート、ヘッドサポート、頭部用エッグショック、肩ベルトカバー、股ベルトカバーの洗濯

- 水、またはぬるま湯で洗濯機の弱水流または手洗いしてください。
- 洗濯機をご使用のときは、洗濯用ネットに入れてください。ほつれや傷みの原因となります。
- きついまみ洗いはしないでください。
- 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いや漂白剤も避けてください。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干してください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

● 幌、カゴ、シートベルト（股ベルト・腰ベルト・肩ベルト）のお手入れ

- 幌、カゴ、ベルト類は液中につけず、水、またはぬるま湯の洗剤を付けたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干してください。

車体の清掃について

⚠ 注意

車体の清掃は水ぶき以外はしないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

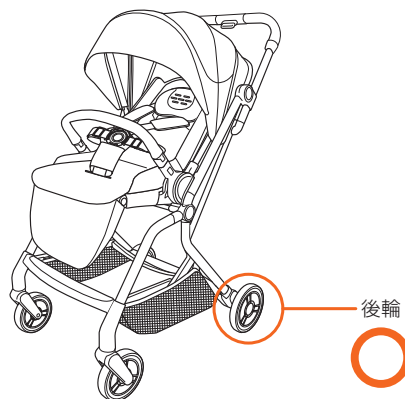
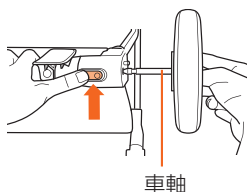
- 車輪やプラスチック部品および金属部品、バックル類、フロントガード、ハンドルグリップの汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。

注油について

⚠ 注意

お子さまがなめる可能性の高いフロントガードなどには油が付着しないようご注意ください。

- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油（シリコン系）を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
- 右図に示す部分以外には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。
- 注油するときは、図のようにボタンを押して後輪をはずし、車軸に注油してください。
- 後輪をベビーカー本体に差し込み、車輪を引っぱり取れないかを確認してください。

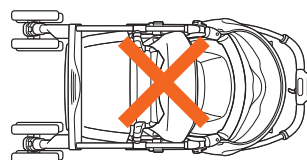


保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

⚠ 注意

- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
- ベビーカーに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカーを寝かせて保管する場合は、背面を下にしてください。
- 横向きに寝かせて保管をすると、故障や変形の原因となります。



点検とアフターサービスについて

- ご使用前に、締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか点検してください。
- ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみ、タイヤの摩耗、シートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。
そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。
お問い合わせの際は、車体後側から見て右のパイプに貼ってあるシールをご覧になって製品名・ロットNo.をお知らせください。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お手入れの際に取りはずした製品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。
- 本製品の修理／部品販売は、原則として製品の製造中止から3年後までとなります。この期間内でも該当部品の在庫がなくなった場合、対応できないことがあります。また、色や仕様が若干異なる部品で対応させていただきます場合もあります。あらかじめご了承ください。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
TEL. (048) 797-1000
FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16
TEL. (06) 6942-0379
FAX. (06) 6942-0302

ベビーカーの『標準使用期間』について

ベビーカーの『標準使用期間』は「新規購入後5年」です。

標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。